

日本共産党都議会議員

文教委員会理事
オリンピック・パラリンピック特別委員

とや英津子のニュースレター

TOYA ETSUKO Newsletter

●ホームページ



事務所 練馬区桜台1-6-11 TEL:03-6324-8060

23
年度に都民の願い実る！
18才まで医療費無料化実施へ

東京都は、現在中学生まで実施している医療費助成の対象を高校生まで拡大する方針を固め、来年度予算案に、実施に向けた区市町村等の準備経費補助7億円を盛り込みました。

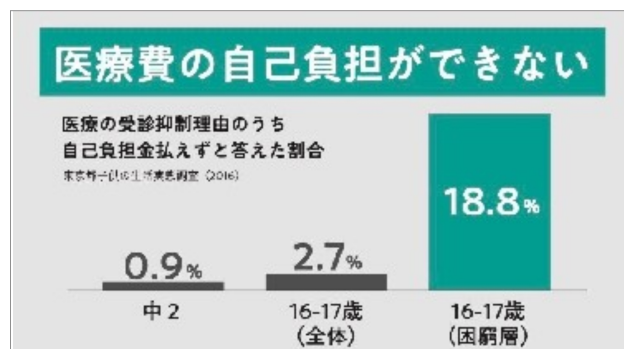
従来、医療費の助成が中学生で終わり医療費負担が大きく増えるため、困窮層では卒業後の受診抑制につながっていました。

共産党都議団が昨年12月に条例提案おこなう

そのため日本共産党都議団は、従来から18才までの延長を求めてきました。昨年12月には条例提案を都議会に提出して実施を求めました。

条例提案は自民党、都民ファースト、公明党などが反対し否決されましたが、今回東京都が実施のための予算を計上しました。都は22年度に実施の仕組みを作り、合意が得られた区では23年4月から実施する計画です。都民からは何度も議会に陳情が出されていました。

皆さんとともに実現できて、本当に嬉しいです。

共産党都議団の条例案発
表の記者会見（昨年12月）

コロナ対策の緊急申し入れ 共産党都議団

新型コロナの急速な感染拡大が進行する中、1月7日、17日、24日の3回コロナ対策の緊急申し入れを行いました。

ワクチンの追加接種の迅速化、PCR検査体制の強化や医療体制の整備などともに、まん延防止措置の実施に際して臨時議会を開催して都議会で充分議論をすべき内容です。



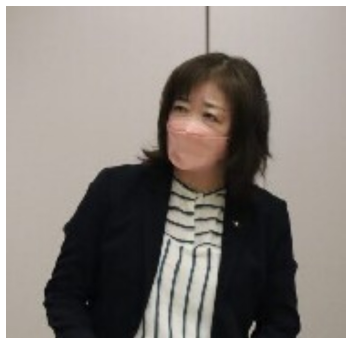
いよいよ予算都議会

(2月16日
～3月25日)

●予算特別委員として質問に立つ予定です

2022年度の東京都の予算案を審議する第1回定例都議会が2月16日から開会します。

私は予算特別委員会のメンバーに入る予定で、右の赤字部分の7、8日のどちらかの予算特別委員会で質疑に立ちます。



質疑は都のネット配信で中継される予定ですので、決まり次第またお知らせします。

命とくらし守る施策実現を強く求めます

コロナの深刻な感染拡大のもとで、都民のいのちと生活、営業が脅かされています。一方で、都はオリンピックが終わったとたん道路や再開発を加速させみすごせません。

みなさんの声を届け、予算審議を通じて都民のための施策の実現のために全力を尽くす決意です。

2022年第1回定例都議会の予定

2月16日(水) 開会 本会議 知事施政方針演説

2月22日(火) 本会議 代表質問

24日(木) 本会議 一般質問

25日(金) 本会議 一般質問

3月 3日(木) 本会議 討論、中途議決

3月7～9日(月～水) 予算特別委員会
総括質疑

22日(月) 予算特、しめくくり
総括質疑

23日(火) 予算特、討議・議決

25日(金) 最終本会議、討論・議決

くらし守る予算実現求めて

共産党都議団が2022年度予算要望書を提出

要望項目は2390項目

コロナ禍のもと都民の命と暮らしをどう守るのか、都政の役割が厳しく問われています。

コロナ対策とともに、失業や収入減、倒産や廃業が深刻になる中で、物価高が都民の暮らし、中小業者の営業の困難に追い打ちをかけています。飲食店をはじめ、中小企業・小規模事業者の営業を守ること、非正規雇用の方も含め雇用を守ること、学生やひとり親支援など、誰一人取り残さない支援を行うことは都の責務です。

今こそ地方自治体本来の使命である住民福祉の増進のため、都政のすべての力を注ぐときです。

大型開発見直し、命とくらし守れ

要望書では、外環道や都市計画道路、臨海地域の「東京ベイまちづくり戦略」をはじめとした大型開発など不要不

急の事業を抜本的に見直し、都民の命、福祉、暮らし、営業を最優先に守り抜くための予算編成を行うよう強く求めています。 要望事項は、約2390項目にのぼります。



小池都知事に予算要望書を手渡す共産党都議団（とや英津子都議は左から2人目） 21年12月23日都庁